

「点訳のてびき 第3版 Q & A 第2集」

※ それぞれの質問文は一切変更しません。

第2章

Q 1	参照箇所 一部削除	p19 4. <処理> 下から3行目～2行目削除
Q 2	参照箇所	p 23 (8)
Q 3	参照箇所	p 25 1.
Q 4	参照箇所	p 26 <処理4>
Q 5	追加	最後に《p 26 2. も参考にしてください。》を追加
Q 6	参照箇所 追加	p 26 2. <処理1> 最後に《第4章 「その3 線類」 p 113 <処理2>の「参考」も参照してください。》を追加
Q 7	用語変更	点訳者挿入符 → 点訳挿入符
Q 8	追加	「点訳問題集2」(絶版)
Q 9	一部変更	最後の文を《英語点字では、小数点(②⑤⑥の点)を用いて書きます。》と変更。(墨点字も②⑤⑥に変更)
Q 10	参照箇所	p35 1 (3) に準じて、～ 。下から3行目の「【備考】に」を削除。
Q 12	差し替え	p35 (3)<処理>にありますように、この場合3桁の「110」と「イクツ」は第1つなぎ符を入れて続けて書きます。
Q 13	差し替え	第2文を以下のように差し替える。p39 2. (2)「参考」には、《「ひと、ふた」と数えはじめても途中から「ご、ろく、…」と漢字音になる場合には目安として、3から数字で書くようにすればよいでしょう。》とあります。
Q 17	参照箇所	(「表記法」p151参照) → (p 38 「コラム6」参照)
Q 18	参照箇所	p36 (5)
Q 19	参照箇所	p 41 「コラム7」
Q 22	参照箇所	「表記法」p 26
Q 25	差し替え	規則の変更によりご質問のような書き方になりました。略称などで大文字が複数続き最後に小文字が付く場合は、二重大文字符を用いた上で小文字の前に外文字を前置します。p 43 【備考2】を参照してください。英語点字の書き方は、「てびき」p 137 (5) を参照してください。
Q 30	用語変更	点訳者挿入符 → 点訳挿入符

第3章

Q34	参照箇所 一部差し替 え	最後の文を《「てびき」の用例としては、p61「コラム15」に「ニューガク■ マエ」と「タイイクカンマエ」があります。》に差し替え。
Q36	一部差し替 え 一部変更	最後の段落を《なお、どうしても判断が付きにくい場合は、p79<処理1>に 従って区切って書きます。》に差し替え。 《A》の文を《～p79<処理1>にある通り～区切って書きます。》に変更。
Q37	追加 削除	2文目の先頭に《p57【備考2】にある通り》を追加。 4段落目の《P37コラム「音韻変化」も～ください。》を削除。
Q39	参照箇所	「表記法」p40【注意】から～ なお、p82 3. の意味のまとめり～
Q41	参照箇所 追加	p64 2. の規則によって～ となります。P68【備考2】も参照してくださ い。～p65【備考】の規則に～
Q43	一部差し替 え	2文目削除して《4版ではp71 5. に外来語を新設して判断基準を示しまし た。》に差し替え。2段落目《「Q&A」Q47も参考に考え》を削除。
Q44	1文差し替 え	最初の文を差し替え《「表記法2018年版」p44【備考】に「2拍であっても 漢字2字の漢語は独立性が強い場合が多い」とあります。》
Q45	一部削除	1段落目すべて削除
Q46	参照箇所	p75 6.
Q47	追加	最後に《「4版」では、p75 7. を新設しましたので参照してください。》 を追加
Q48	参照箇所 追加	最後に《p76 (2)も参照してください。》を追加
Q49	追加	最後に《p36 (6)に用例があります。また、p76 (2)に「第1分科会」の 用例があります。》を追加。
Q51	用語変更	理解を損なう → 理解を妨げる(2箇所)
Q56	参照箇所	p89 p88
Q57	一部差し替 え	p90【備考2】の「パナソニックさん」「越後屋さん」と同様～
Q59	追加	第1段落の最後に《p92<処理3>および「コラム21」も参照してくださ い。》を追加
Q60	参照箇所	p94 1. とp96【備考2】から～
Q61	差し替え	「しまへん」「しません」は、「あらへん」「できへん」「かまへん」など の丁寧語として、「あらしまへん」「できしまへん」「かましまへん」など と用いられますので、「デキシマへん」「ミイシマセン」「アレシマへん」 と一続きに書きます。
Q62	追加 削除	最初に《p97 1. にあるように》を追加。 《p37の「コラム」を参照して ください》を削除

Q63	一部削除	《p37の「コラム」にあるように、》削除
Q64	参照箇所	p97 2. 参考、p218 3. を参照してください

第4章

Q67	参照箇所 用語変更	p131 点訳挿入符
Q68	参照箇所	p101
Q69	削除	
Q71	差し替え	p104「1. カギ類」の規則(1)から内側のカギを、ふたえカギまたは第2カギに置き換える書き方が考えられますが、p106<処理2>によって第1カギを用いることもできます。
Q72	差し替え	p104「1. カギ類」(3)の規則からすべて一マスあけます。
Q73	一部 差し替え	第2文を《p109「コラム23」も参照してください。》に変更
Q74	差し替え	p108の参考から、この場合はすべて続けて書いてよいでしょう。
Q77	参照箇所	p110
Q81	参照箇所	p75
Q82	追加	最後に《p115 <処理2>を参照してください。》を追加
Q85	差し替え	波線の両端がそろわない場合については、p115【備考】と<処理1>にわけて説明してあります。ご質問の語の場合は、p115【備考】に基づき波線を用いるか言葉に置き換えるかを判断します。<処理1>には必ず言葉に置き換えなくてはならない場合が示してあります。
Q86	参照箇所	p120
Q87	参照箇所 一部差し替 え	p159 最終文を《なお、p159<処理>および「Q & A」Q134も参照してください。》に差し替え
Q88	追加	最後に《p121「2. 小見出し符」(3)を参照してください。》を追加。
Q90	参照箇所	p131 1. 第1順位(4)
Q91	参照箇所	p174~p187
Q92	一部 差し替え 追加	回答の書き出しを《ページが変われば本文に戻るというのは、p187【備考1】に示したような場合だけです。》に差し替え。 最終文を削除して、《なお、p189「コラム34」を参照してください。》を追加。
Q93	参照箇所	《A》p125

Q94	参照箇所	p116
Q97	参照箇所	p135
Q99	参照箇所	p103～p104の用例と参考に従って～
Q100	参照箇所	p122「コラム24」によって～
Q101	用語変更	点訳挿入符
Q102	一部変更 追加 参照箇所	「…見てね♡」の点訳例を《「・・・■ミテネ■（ハート■マーク）」》に変更 《p194<処理2>も参照してください。》を追加 《Q》《A》の参照箇所 p142【備考】
Q103	一部 差し替え	最初の段落を《「てびき」では、分数以外に、数字の間のスラッシュは用いないこととしました。血圧の書き方は、p127「コラム25」および「Q&A」Q162を参考にしてください。》に差し替え
Q104	差し替え	英文で語の一部が伏せ字になっている場合はハイフンや点線を用いますので、この場合も伏せ字の数だけ③の点または③⑥の点を並べて書くとよいでしょう。
Q106	参照箇所	p138 1. (7)、参考資料7
Q107	一部変更 用語変更	点訳では、x xと書きます。（墨点字の文字符を削除） 点訳挿入符
Q108	一部変更	第2段落を削除して、《p141<処理>を参照してください。》を追加。
Q109	一部変更 記号追加 用語変更	文の後段を《～マークとして用いられている場合は、アットマーク（⑤⑥コ）を用いるか、その読みを書いてもよいでしょう。》に変更。さらに墨点字にアットマークを用いた例を追加する。 情報処理用点字 → 情報処理点字
Q110	一部変更	書き始め《p140「2. ホームページやEメールアドレス」(4)にあるように、区切りのよい箇所で分けます。意味のまとまりを考えると～》とする。
Q111	一部 差し替え	第1文を《p141「3. 数学記号」(2)によりカッコの前は一マスあけになります。》に差し替え。
Q112	削除	《Q》《A》は削除しない。

第5章

Q114	参照箇所	p148
Q116	参照箇所 一部変更	p155<処理>およびp156「コラム30」 第2文を《段階を設ける必要がある場合や見出しの段階を示す数字などが原本に全く付いていない場合は、行頭のあけ幅が同じでも～》に変更。
Q118	一部 差し替え	第1文を《見出しが1種類の場合、p154<処理2>にあるように一般図書では7マス目から書くことを原則とします。》に差し替え

Q 119	参照箇所	p161 (4)
Q 120	参照箇所	p169
Q 121	参照箇所	p171
Q 122	一部 差し替え	第1文を《5マス目から書くのが一般的ですが、7マス目から書くこともできます。》に差し替え。
Q 124	一部削除	「表記法」を削除
Q 125	差し替え	「てびき」では、点訳挿入符で点訳上の処理事項を入れた後、表の本体に入る前は1行あけを原則としています。ただ、例6のように言葉で説明するような場合は、1行あけなくても差し支えありません。
Q 126	一部削除	第2段落を削除
Q 129	参照箇所	p196 「コラム36」
Q 130	参照箇所	p196 「コラム36」
Q 131	用語変更	TRC → TRC MARC (3カ所)
Q 132	一部削除	第2段落を削除
Q 140	参照箇所	最後に《なお、p207 「9. 点訳書凡例」を参照してください。》追加。
Q 141	用語変更 参照箇所	点訳者挿入符 → 点訳挿入符 最後に《なお、p207 「9. 点訳書凡例」を参照してください。》追加。
Q 142	一部変更 一部削除	第1文の語尾を《～で書きます。》に変更。第2段落削除
Q 143	差し替え	p204 6. (4)のルールに従って二マスあけにします。
Q 144	一部変更	p203に「必要な情報は～書くことができる」と～
Q 146	参照箇所	p203 (7) → ① p203
Q 147	参照箇所 用語変更	p213 点訳挿入符
Q 149	削除	
Q 151	用語変更	点訳挿入符
Q 152	一部変更	第2段落途中から《～BESの検索機能(F2)を用いて、検索を行い、必要に応じて修正するようにしてください。》に変更
Q 154	差し替え	データを利用する上で便利ですので、p198「2. ページの付け方」＜処理＞に従い、ページを入れます。